

## 児童生徒の安全対策について

——— 防災行政用無線を活用した安全対策 ———

児童生徒の安全対策の中でも、今回は防災行政用無線を活用した住民への周知に限定したものをテーマとしています。

### 近年における凶悪事件発生の現状

一昨年の11月に八戸市で、小学6年生女子児童が首を刃物で切り付けられ、刃物を持った犯人が逃走するという事件が発生しました。そして昨年10月は、三沢市でコンビニ強盗未遂事件が発生し、刃物を持った犯人が逃走しました。

このように、近年の凶悪事件の発生現場がおいらせ町に近いということと、その犯人が逃走することで、町内にも危険が及んでいるということが度々あるということが現状としてあります。

### 八戸市の事件での動き

日時	状況	教育委員会・学校の対応
① 2019.11.12 16:40 頃	八戸市で小学6年生の女子児童が首を刃物で切り付けられるという事件が発生	
② 同日 17:00 頃	三沢警察署から電話があり、学務課に事件の一報が伝えられた。犯人はまだ捕まっていない。	
③ 同日 17:15 頃		学務課から町内8小中学校へ電話により、下校や翌日の登校の際に警戒するよう促す。
④ 同日 17:30 頃		各学校から保護者へほっとスルメールにより事件の概要が伝えられた。
⑤同日 夜	犯人が逮捕される。	

※この事件では、防災行政用無線を用いた住民への周知は行われていません。

## 三沢市の事件での動き

日時	状況	町・教育委員会・学校の対応
① 2020.10.9 朝 4:10 頃	三沢市でコンビニ強盗未遂事件が発生。犯人は刃物を持ったまま逃走した。	
② 同日 8:30 頃		学務課から町内 8 小中学校へ FAX にて情報提供し、児童生徒の安全対策を促した。
③ 同日 12:00 頃	三沢警察署からの情報では、犯人はまだ捕まっていない。	学務課から町内 8 小中学校へ FAX にて情報提供し、部活動の中止と、下校時の安全対策を要請した。
④ 同日 15:00 頃	三沢警察署員からみなくる館の職員へ、付近のコンビニに不審者が確認されたとの情報提供があった。	
⑤ 同日 16:00 頃		みなくる館職員⇒社会教育・体育課⇒まちづくり防災課へと不審者情報が伝達された。
⑥ 同日 17:20 頃		防災行政用無線で住民へ、事件の概要と注意喚起が周知された。

## これらの事件における問題点

その 1 八戸市の事件では、前ページ④の時点で、ほっとスルメールにより各保護者への周知は行われたものの、まだ犯人が捕まっていないにもかかわらず、スポ少や部活動中でまだ帰宅していない児童生徒には連絡が伝わっていなかった。

また、一部のテレビニュースで報道されたものの、それを見ていない住民は、犯人が逃走中であるという事実を知らずにいた。

その 2 三沢市の事件では、午前 4 時頃という早朝に発生しているものの、防災行政用無線による住民への周知が午後 5 時過ぎということで、事件から 13 時間あまりが経過しており、その間に、町内のコンビニで不審者が目撃されていることから、住民が事件を知らず、無警戒のまま巻き込まれる可能性があったと考えられる。

## 問題解決に向けた提案

問題点その1、その2いずれのケースも、早い段階で防災行政用無線を用いて住民に周知することを提案するものです。

これにより、各自で防衛のための準備ができるため、無警戒で巻き込まれる可能性が低くなると考えられるほか、次の2つのメリットが考えられます。

メリット1 八戸市の事件の問題点にあるように、ほっとスルメールだけでは伝わらない、スポ少や部活動中の児童生徒にも情報伝達でき、いち早く危険を知らせることができる。

メリット2 防災行政用無線の放送内容を逃走中の犯人が聞くことにより、おいらせ町内に潜伏する可能性を低くすることができる。

## そのほか将来的に検討が必要な安全対策

通学路及び学校周辺の安全対策として、近年、防犯カメラを設置する学校が増えている。児童生徒を狙った犯罪も多く、設置による犯罪抑止効果も高いと考えられるため、今後検討する必要があります。